



広報佐野日大

SANONICHIDAI



vol.
244
2026.5.30



第98回選抜高等学校野球大会出場！

TOPICS

- ・【入学式】 校長式辞、新入生の新たな門出
- ・【学校生活】 進路、遠足、国際交流、PTA
- ・【部活動】 祝全国大会出場、関東大会予選速報
- ・【硬式野球部】 選抜高等学校野球大会

校長式辞

志を持ち、仲間とともに 成長する三年間を

校長 高原 健治



本校は昭和39年、日本大学の附属高等学校として設立され、「自主創造」「文武両道」「師弟同行」の三つの校訓のもと、多くの先輩方が学び、社会へと羽ばたいていきました。この校訓は、これからの皆さんの三年間を支える確かな指針となるものです。

「自主創造」とは、自ら学び、自ら考え、自ら行動し、自らの道を切りひらく力です。変化が激しく、正解の見えにくい時代だからこそ、自ら問いを立て、主体的に挑み続ける姿勢が求められています。「文武両道」とは、確かな学力とともに、困難に立ち向かう力を養うことです。本校では、学業や部活動、学校行事などに真剣に取り組む中で、人としての幅を広げていきます。「師弟同行」とは、教師と生徒が共に学び、共に成長していくことです。教職員一同、皆さん一人ひとりの可能性を信じ、全力で支えてまいります。

さて、新入生の皆さんに、これからの高校生活を充実させるために大切にしてほしいことを二つお話しします。一つ目は、「挑戦すること」です。「立志は万事の根源なり」、志を持つことが、すべての出発点です。自分はどのように生きたいのか、何を成し遂げたいのか。その問いに向き合うことから、人生は動き始めます。そして、ここで皆さんにぜひ心に刻んでほしいことがあります。それは、現状に対して「できない理由」を探すのではなく、「どうすればできるか」を考え、行動に移すことです。実はこの姿勢は、今まさに本校の中で体現されているものでもあります。本校の硬式野球部は、この春、第98回選抜高等学校野球大会に出場しています。そこに至るまでの道のりは、決して平坦なものではありませんでした。思うような結果が出ない時期、思い通りにいかない試合、さまざまな壁に直面してきました。しかし、彼らは「できない理由」を並べることはありませんでした。なぜ打てないのか。どうすれば抑えられるのか。どうすれば勝てるチームになれるのか。常に問い続け、考え続け、行動し続けました。その一つひとつの積み重ねが、今回の舞台へとつながっています。皆さんに知ってほしいのは、結果そのものではありません。そこに至るまでの過程、そして向き合い方、挑戦する姿勢です。勉強でも部活

動でも、学校生活でも同じです。うまくいかないときこそどう考えるか。立ち止まるのか、前に進むのか。その選択が未来を大きく変えます。ここでぜひ心に留めてほしいのは、これは決して特別な人だけができることではないということです。皆さん一人ひとりにも、同じように実践できる姿勢です。できない理由ではなくできる方法を考える。その姿勢をぜひ皆さん自身のものにしてください。挑戦には失敗が伴います。しかし、失敗は終わりではなく次への糧となります。どうか自らの可能性に限界を設けることなく、挑み続けてください。

二つ目は、「よき友人をつくること」です。学校は、仲間と共に学び、共に成長する場所です。互いに励まし合い、支え合う関係の中で、人は大きく成長します。人の考え方や生き方に最も影響を与えるもの、それは「人との出会い」です。教室で学び合う仲間、グラウンドで支え合う仲間、同じ目標に向かって努力する仲間。そうした存在が人を強くし、前へと進ませてくれます。高校時代に築かれる友情は、人生を支えるかけがえのない財産となるでしょう。出会いを大切に、仲間とともに成長する三年間にしてください。

結びに、私たち教職員は、生徒一人ひとりの可能性を信じ、全力を挙げて教育活動に邁進してまいります。保護者の皆様におかれましても、本校教育へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。新入生の皆さん、これから始まる三年間は皆さんの人生において、かけがえのない時間です。志を持ち、挑戦し続ける人であってください。仲間を大切に、共に成長する人であってください。そして、できない理由ではなくできる方法を考え、自ら一步を踏み出す人になってください。その一步が、未来を変えます。皆さん一人ひとりの歩みが、本校の新たな歴史をつくります。新入生の皆さんのご入学を心よりお祝い申し上げます。



入学式 新入生の新たな門出

4月6日(月)、桜が舞う春の日に多くの来賓の方々が参列される中、今年度の入学式が挙行政され、晴れやかな門出の日を迎えた新入生とその保護者が参加しました。高原校長の入学許可に始まり、校長式辞、日本大学学長のご名代として日本大学医学部部長の木下浩作様による祝辞の後、来賓を代表して佐野市長の金子裕様、PTA会長の本庄広大様よりお祝いの言葉をいただきました。

新入生代表挨拶は高橋愛来さん(1年・佐野・あそ野学園義務教育学校)が務めました。Where there is a will, there is a way. (意志あるところに道はひらける)というアメリカ合衆国元大統領エイブラハム・リンカーンの言葉を引き合いに出し、本校の3つの校訓の精神のもと、学業やさまざまな活動に挑戦していくという決意を述べました。

在校生代表として生徒会長の坂本妃南乃さん(3年・白鷗大学足利中)が歓迎の言葉を述べ、新入生を温かく迎え入れました。新入生は少し大きめの新しい制服に袖を通しこれから始まる学校生活への期待に胸を膨らませている様子でした。



大学合格状況 2026

今年も授業や各種セミナー、課外授業等で努力を重ねた結果、日本大学364名、国公立大学等52名、難関私立大学等199名の合格者を出し、めざましい成果を収めました。

祝 合格おめでとう!

日本大学、東北大学、北海道大学、
香川大学(医)など 多数合格

現役合格率

97.8%

毎年高い現役合格率

日本大学 364名 合格

法22名、文理38名、経済30名、理工43名、薬13名、歯7名等

日本大学以外の難関私立大学等

早慶上智6名、GMARCH 21名等 **199名 合格**

国公立大学 (大学校含む) 52名 合格

東北大学、北海道大学、香川大学(医含む)、筑波大学、東京外国語大学、東京学芸大学、横浜国立大学、宇都宮大学、群馬大学、埼玉大学、高崎経済大学、気象大学校、防衛大学校等

医歯薬看護獣医系大学学部 60名 合格

医9名、薬18名、獣医2名、歯14名、看護17名
香川大学(医1)、東京薬科大学(薬1)、自治医科大学(看2)等

遠足に 行ってきました!

1年生：那須ハイランドパーク
2年生：東京ディズニーシー
3年生：東京ディズニーランド

4月28日(火)、各コース、学年に分かれてバス遠足が行われました。天候にも恵まれて皆の輝く笑顔がたくさん見られた1日となりました。遠足を通して生徒同士の絆が深まる良い機会となりました。



School Life 特集



カー校長、アビー先生来校

5月16日(土)~23日(土)、イギリスの姉妹校であるキング・エドワード6世校のカー校長とアビー先生が、本校を訪問されました。来校中はシェイクスピア劇の優れた指導者であるアビー先生が、希望生徒を対象として劇『ハムレット』のワークショップを行いました。また、カー校長による「リーダーシップ」をテーマとした講演会が行われました。



◀ 講演を行うカー校長



▼ 演技指導中のアビー先生

ケンブリッジ大学 ペンブルック・カレッジ 「イースター・プログラム」



3月23日(月)~4月9日(木)まで実施されたケンブリッジ大学ペンブルック・カレッジ「付属高校生のイースター・プログラム」に、本校を代表して高等学校、菅原美来さん(2年・足利・山辺中)、村田美遼さん(3年・太田・城東中)が参加しました。生徒たちは、英語力の向上や異文化理解を目的として、学びを深めることができました。



ビンデル教授来校



4月13日(月)、ドイツのヨハネス・グーテンベルク大学マインツから、スポーツ教育学を専門とするビンデル教授が来校され、ドイツにおけるユーススポーツについて講演を行いました。ドイツ政府や学校、地域社会によって子どもたちがスポーツに取り組むために行われている様々な支援について、お話をいただきました。



PTA定期総会開催

5月25日(月)、PTA定期総会が開催されました。昨年度会長の本庄広大様から退任のご挨拶をいただきました。また、新しく会長に就任した長則行様から新任役員を代表して、ご挨拶をいただきました。その他、授業参観・教育講話・学級懇談会が行われました。

▶ 新任の挨拶をする
新PTA会長 長則



◀ 総会の様子

▶ 感謝状授与の様子
前PTA会長 本庄様



ひか 輝る 佐日旋風

全国大会出場おめでとう!

剣道部



全国選抜大会
ベスト8!

3月27日(金)・28日(土)、春日井市総合体育館(愛知県)にて第35回全国高等学校剣道選抜大会が行われ、栃木県代表として出場しました。全国の強豪校相手に奮闘し、見事ベスト8の成績を収めました。

チアリーディング部



3月26日(木)、幕張メッセにてUSA School&College Nationals 2026が行われ、本校SPARKLESは高等学校編成Show Cheer部門Novice Smallに出場。第3位の成績を収めました。

USA School & College
Nationals 2026
Show Cheer部門 第3位!

英語研究部



栃木県英語ディベート冬季大会
PDA部門
Aチーム第2位! Bチーム第6位!

3月14日(土)、宇都宮女子高校にて

吹奏楽部



第7回定期演奏会開催

3月28日(土)、栃木市藤岡文化会館にて

さくらインターアクト・クラブ



台湾研修

3月24日(火)~27日(金)



関東大会出場決定

予選大会結果
速報

剣道部



優勝!

5月8日(金)・9日(土)に行われた第67回栃木県高等学校総合体育大会兼第73回関東高等学校剣道大会県予選会にて男子団体が優勝しました。また、個人の部でも大河原靖太さん(3年・小山・小山第三中)が優勝、田中翔さん(3年・越谷・中央中)が準優勝、石川陽南人さん(2年・春日部・大沼中)が第3位に輝きました。

ラグビー部



準優勝!

硬式野球部



準優勝!

陸上競技部

男子	
3000mSC	1位 島村 和輝(3年・宮代・前原中) 2位 横山 諒(3年・朝霞・朝霞第一中) 3位 黒澤 和真(3年・桐生・新里中)
800m	3位 内海 勇駕(3年・羽生・南中) 4位 福井 涼介(3年・那須塩原・三島中)
1500m	2位 福井 涼介
5000m	5位 谷 颯真(2年・足利・坂西中) 6位 亀山 純平(2年・佐野・赤見中)
走幅跳	3位 浦沼 夏希(2年・小山・小山第三中)
三段跳	4位 平野 優雅(2年・宇都宮大学共同教育学部附属中) 5位 浦沼 夏希
やり投	4位 岡田 侑晟(2年・佐野・南中)

3000mSC
表彰台独占!!

女子	
4×400mR	3位 厚木 彩佐(1年・足利・北中) 高山 莉瑚(1年・下野・石橋中) 荒川 琴音(1年・佐野・蕨生義務教育学校) 須田 彩希(3年・栃木・東陽中)
4×100mR	4位 厚木 彩佐 須田 彩希 高山 莉瑚 荒川 琴音
400mH	3位 須田 彩希
走幅跳	2位 厚木 彩佐 6位 高山 莉瑚
三段跳	2位 厚木 彩佐

女子4×400mR
創部以来初
関東大会出場!



3000mSC
左から 横山さん、島村さん、黒澤さん



左から 厚木さん、高山さん、荒川さん、須田さん

ゴルフ部

速報!

団体男女、個人男子10名・女子4名出場!



選抜高等学校野球大会

全力で戦い抜く



第98回選抜高等学校野球大会（阪神甲子園球場）が3月19日（木）に開幕し、大会5日目の23日（月）、本校硬式野球部が三重高校と試合を行いました。試合は中盤まで、互いに得点を許さない投手戦の展開となりました。四回には外野からの好返球で失点を防ぐなど随所に好プレーを見せましたが、六回に2失点し、0-2で惜敗しました。最後まで諦めずに粘り強くプレーした選手たちに、スタンドからは温かい拍手が送られました。



応援に参加した生徒たちは試合前日の夕方にバスに乗り込み、試合に駆けつけました。保護者、関係者等も合わせた大応援団となり甲子園球場三塁側アルプス席をスクールカラーの見事な桜色に染めました。それまで降っていた小雨を吹き飛ばすかのような伝統のオリジナル応援曲「マグナ」や大音量の声援を甲子園球場いっぱいにかせ、試合を大いに盛り上げました。試合後のバスの中からは硬式野球部の健闘を称える声や、夏の甲子園大会出場を期待する声が聞こえてきました。惜敗しましたが、選手だけでなく応援に参加した生徒たちにとってもかけがえのない大会となりました。



25日（水）に選手団が学校に帰着し開かれた出場報告会では、主将の中村盛汰さん（3年・郡山・安積第二中）が選手を代表して挨拶をしました。応援への謝辞を述べ

るとともに、「この試合で出た課題を克服して必ずもう一度甲子園で戦いたい。そして校歌をみんなで歌いたい」と夏の大会に向けて抱負を述べました。



▶中村主将挨拶



4月7日（火）、プラザ40にて「応援団賞」優秀賞の記念の盾が毎日新聞社より贈られました。この賞は出場32

校の1回戦の応援を対象に、マナーや技術、入退場の様子などを基準に選ばれるものです。今回の応援が評価され、生徒たち全員で喜びを分かち合いました。



▶「応援団賞」優秀賞の盾

ほっと、一息エピソード ～応援団の勇姿～

12年ぶりの甲子園での応援、そして12年前と同じ応援団賞の受賞。変化の激しい時代の中でも佐野日大の応援が伝統を継承し、そして進化したことを証明する誇り高き受賞でした。

12年前に応援団長として活躍した宇都木先生は、今回は顧問として応援団を支えました。現応援団長である手嶋泰生さん（3年・加須・昭和中）は宇都木先生から「主体的に動き、他の模範となるよう」行動面から精神面に至るまで常に指導を受けてきたそうです。当日、想定外の出来事に直面したときも、全体応援でリズムが崩れてしまいそうなときも、これまでの主体的な取り組みの成果で臨機応変に対応することができました。「かけがえのない経験ができた」と嬉しそうに語る手嶋さん。その言葉に微笑む宇都木先生。「師弟同行」を体現する姿がそこにありました。



手嶋さんと宇都木先生

編集
後記

第98回選抜高等学校野球大会において受賞した「応援団賞」優秀賞は、3月23日の三重高校戦で一人ひとりが力いっぱい選手に届けた声援が評価されたものです。硬式野球部の選手と一緒に大いに試合を盛り上げた生徒の皆さん全員に拍手を送りたいと思います。夏の大会では4月に入学した皆さんも一緒に応援し、校歌を響かせたいものです。
(広報佐野日大 編集委員一同)

広報佐野日大 VOL.244

佐野日本大学高等学校 栃木県佐野市石塚町2555
☎0283-25-0111(代) <https://high.sano-nichidai.jp/>